

ポストドクター・キャリア開発事業

平成24年度予算案 : 2,090 百万円
(平成23年度予算額 : 1,866 百万円)

現状・課題 (旧ポストドクター・インターンシップ推進事業)

- ・民間企業におけるポストドクターの採用実績が低く、就職口が少ない。
- ・ポストドクターの就職支援システムが確立されていない。

ポストドクター：博士号取得後、大学等の研究機関で研究業務に従事している者であって、准教授等の職に就いていない者。

新成長戦略 (平成22年6月閣議決定)

2020年までに、・・・理工系博士課程修了者の完全雇用を達成することを目指す。

第4期科学技術基本計画 (平成23年8月閣議決定)

企業等における長期インターンシップの機会の充実を図るなど、**キャリア開発の支援を一層推進**する。

事業の目的

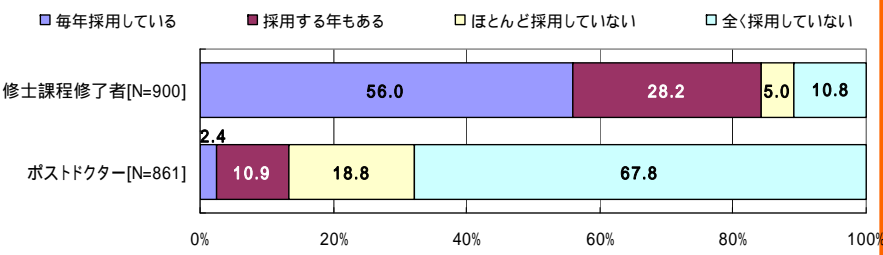
ポストドクターを対象に、大学教員や独立行政法人研究機関の研究者以外に国内外において多様なキャリアパスが確保できるよう、**キャリア開発を組織的に支援するシステムを構築する取組に対し支援**する。
これにより、優秀な若者が、将来展望を持って科学の道に進むことを促す。

事業の概要

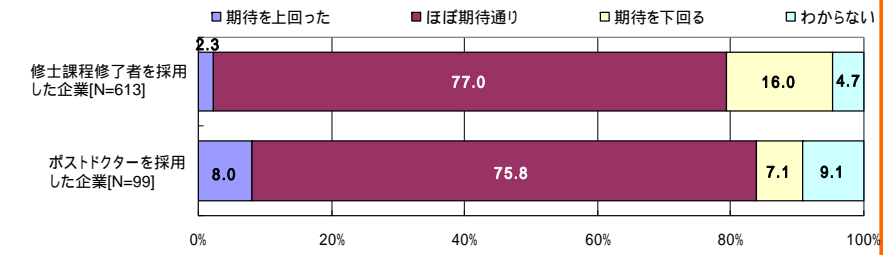
- 対象機関：大学、独法研究機関等（複数機関の共同申請）
 新規選定：6件程度（H23:新規6件 H24:新規6件、継続6件）
 事業期間：5年間 補助上限額：1件当たり年間50百万円
 支援内容：センター機能構築
 支援システム構築
 ・指導教員、ポストドクター、企業への意識啓発
 ・企業等との交流会、講義等
 ・企業と人材のマッチング
 ・長期（3ヶ月以上）インターンシップ経費等に要する経費を支援する。

平成23年度より旧科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」を本事業に統合

採用実績:民間企業におけるポストドクターの採用実績は低い



企業の採用後の印象:ポストドクターは採用企業の期待に答えている



「民間企業の研究活動に関する調査報告(平成19年度)」(平成21年1月、文部科学省)より作成。
有効回答数:924社。

事業のイメージ

